

「やさしい未来都市東広島」の実現を牽引する グローカルなピース&サステナブルユニバーシティタウン構想



令和3年4月 東広島市

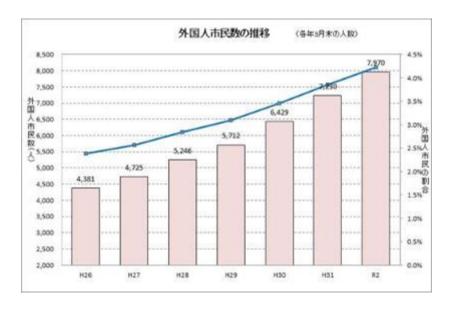








- 人口 196,755人 (R2国勢調査速報値)
- 市の大きさはほぼ東京23区と同様。市域は沿岸部から中山間地まで。
- 人口の半分近くが西条地区(JR西条駅、市役所、広島大学周辺ほか)に集中
- 中心部の過密と周辺部の過疎が同時に進行
- 広島大学の統合移転の受け皿として昭和49 (1974) 年に市制施行 ※市内に4大学
- 大学関係人口 約19,000人
- 外国人市民数 7,870人(総人口に占める外国人市 民の割合 4.15% ※住民基本台帳、R3.2現在)
- →アリゾナ州立大学 (ASU) 誘致で今後も増加予定



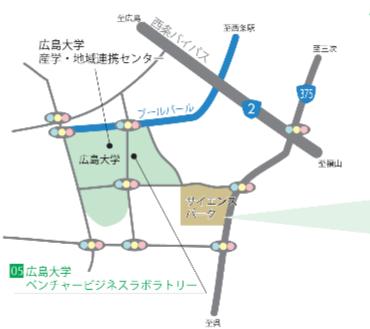
ゆとりある豊かな自然環境、大学の教職員や学生・外国人等の多様な人材の 集積等、次世代のまちづくりの可能性 を秘めた環境 沿岸部・中山間地、過疎・過密、外国人 市民の増加といった日本における課題が 凝縮している縮図的な都市

本市における地域課題を先端技術で解決する取組みは普遍的な意味を持つ。

○広島大学と東広島市が「国際的研究拠点東広島の形成に関する協定」を締結

広島大学と東広島市が、緊密な相互連携と 協働による活動を推進することにより、広島大学東広島キャンパスおよび広島中央サイエンスパーク等からなる国際的研究拠点の形成に迅速かつ適切に対応し、地域社会および広島大学の活性化を図ることを目的とし、協定を締結。

- 1 締結日時 令和元年10月7日(月)16時~16時30分
- 2 連携事項等
- (1) イノベーションの創出に関すること
- (2)研究力の向上に関すること
- (3)教育及び人材育成に関すること
- (4) 国際化の推進に関すること
- (5) 産学連携拠点の構築に関すること
- (6) 交通アクセスの向上に関すること
- (7)海外からの研究者や留学生等の生活環境向上に関すること
- (8) その他国際的研究拠点の形成に伴う地域社会及び広島 大学の活性化に関すること



広島中央サイエンスパーク



○広島大学のキャンパスで米国大が開校~

1 経緯

2018年4月に大学間協定を締結したアリゾナ州立大学(以下「ASU」という。)のサンダーバードグローバル経営大学院が、広島大学と共同で、アリゾナ州立大学/サンダーバードグローバル経営大学院―広島大学グローバル校を広島大学キャンパスに設置することを計画。 広島大学は、キャンパスの国際化をさらに進展させるとともに、ASUの大学マネジメント手法の導入による経営力の強化や、米国トップレベル大学の教授方法等について示唆を得ることが出来ることから、ASUのこの計画に、教育施設の提供(共有)等をはじめとして様々な面での連携、協力をする予定。

2 学位

ASUの学位として、グローバル・マネジメント学士号

3 就学モデルとキャンパス

以下の2つのモデルについて協議中

・2 + 2 モデル: 1・2 年次を広島大学、3・4 年次をA S Uフェニックスキャンパス

・4 + 0 モデル: 1 年次から4年次までを広島大学で就学

4 開校時期

2020年10月 両大学の学生数名が同時に参加できる授業をオンラインで実施(2カ月間)

2021年 8月 広島大学キャンパスで本格開始

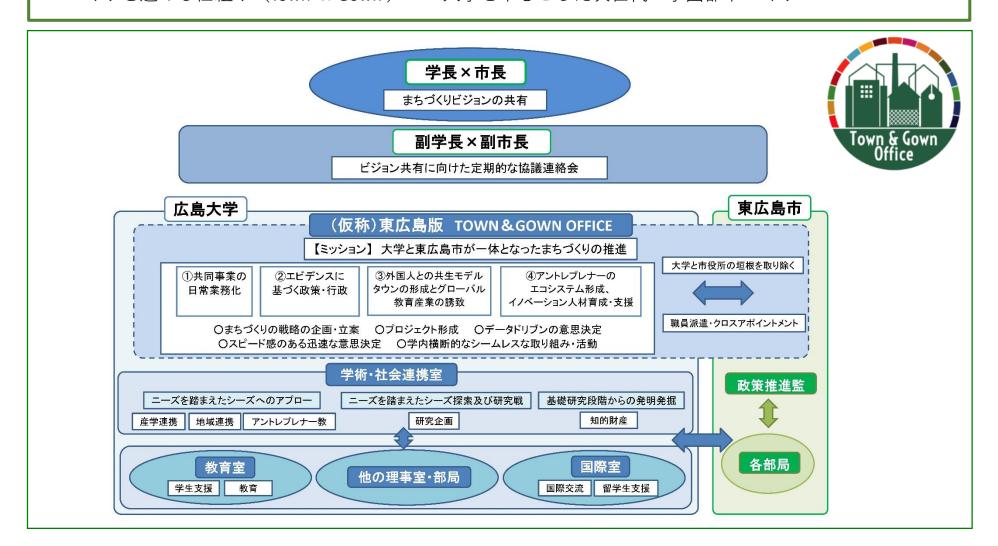
- 5 設置の意義
 - ・日米高等教育の促進
 - ・国立大学の中に海外の大学の海外キャンパスを設置する第一号となり、 広島大学のキャンパスの国際化の進展
 - ・日本の高等教育機関の教育・研究力の向上、国際通用性の強化、国際展開の牽引
 - ・ASUの大学マネジメント手法の導入による経営力強化、米国トップレベル大学の教授方法等の示唆
 - ・国立大学の財政基盤強化のモデル化
 - ・国際的な評価の向上
 - ・東広島市との協力による地方創生への貢献

表敬訪問した萩生田文部科学大臣に報告
(左からグラスマン公使、萩生田文部科学大臣、越智学長、山本参議院議員)



大学と自治体のこれまでにない連携体制

広島大学と東広島市がまちづくりのビジョンを共有し、一体となって「住みやすい・住みたい」まちづ くりを進める仕組み(Town & Gown) ⇒大学を中心とした次世代の学園都市づくり



○広島大学国際交流拠点施設を整備 ~「国際的研究拠点東広島」の形成に向けた環境整備~

国際交流拠点施設整備の目的

- 1 広島大学は現在、スーパーグローバル大学として、徹底した「国際化」を推進し、世界トップレベルに向けた研究の展開、国際通用性の高い教育の提供、 地域社会における産業の国際競争力の向上、既存の枠を打ち破るイノベーション創出等に取り組んでいる。 そうした中、多くの大学と同様にイノベーション創出や海外からの優秀な人材の獲得は、国際戦略上の大きな課題となっている。 それが、最先端の研究成果を生み、地域の産業活動の展開にもつながっていくところである。
- 2 世界中からトップクラスの研究者や優れた留学生を獲得するためには、広島大学の研究者のネットワークを最大限に活用するとともに、世界水準の研究環境、 世界とつながる交流環境、そして世界トップクラスの人材を受け入れることができる優れた生活・居住環境などを整備していく必要がある。
- 3 また、集まった内外の研究者、学生、企業家等によるオープンイノベーションの場、仕組みづくりも重要である。さらに、広島大学が国際化を進めるとともに、 地域に根差した大学としての取り組みを進めていく上では、世界展開の拠点であると同時に、地域に開かれた拠点として、多様な立場の人々が幅広く交流が できる機能を持った施設が必要である。
- 4 以上のようなことから、イノベーション創出、交流、宿泊などの複合的な機能を持つ国際交流拠点施設を整備することにより、広島大学のグローバル化を進め、 国際的研究拠点東広島の形成に寄与していくこととする。
- 5 なお、10 月7 日には、**東広島市と「国際的研究拠点東広島の形成に関する協定」を締結**しており、イノベーションの創出や国際化の推進、交通アクセスの向上、海外からの研究者や留学生等の生活環境の向上などについて、連携して取り組んでいくこととしている。

課 題

- ①海外からの優秀な人材の獲得
- ②東広島における国際的研究拠点 の形成支援
- ③グローバル展開に向けた基盤の 強化
- ④イノベーション創出拠点の整備

方向性・機能

- ①オープンイノベーションの場づくり
- ②世界や地域に開かれた 交流拠点の整備
- ③海外からの研究者に向けた 快適で安全な居住環境の整備



2 0 2 1年(令和3年)秋

- ○事業規模・事業費 建物延床面積 約4,000 ㎡ 全体事業費 約15億円
- ○施設の整備計画
- (1)機能
 - ① イノベーション創出機能 ② 交流拠点機能 ③ 宿舎・生活機能
- (2)施設の概要
 - $1 \sim 2$ 階多目的スペース、会議室、サテライトオフィス等
 - 3~6階宿舎(70室程度)、交流ラウンジ等



○東広島市および周辺地域におけるSociety5.0 やスマートシティの実現に向けた包括的な連携推進に関する協定締結

広島大学、東広島市、住友商事株式会社は、東広島市および周辺地域におけるSociety5.0やスマートシティの実現に関して、令和3年1月26日に「包括的な連携推進に関する協定」を締結し、地方創生の新たな産学官連携モデルを目指します。

本協定は、イノベーションを創出する環境の形成、学術研究、人材育成や産官学連携などの国際的な展開を推進し、日本および地域から世界の発展に寄与することを目的としています。

広島大学

『自由で平和な一つの大学』という建学の精神のもと、グローバル展開と地方創生の好循環により、「持続可能な発展を導く科学」の実践を目指しています。 SDGs やSociety 5.0 の実現に向けて、米国アリゾナ州立大学や地域の自治体との連携を進め、国際展開を見据えた取組を進めています。本協定は、こうした好循環を加速させ、広島大学を、ポストコロナの新しい時代に適合した世界最高水準の研究・教育環境を備えた大学に導きます。

東広島市

2020 年に策定した「第五次東広島市総合計画」で将来都市像として「未来に挑戦する自然豊かな国際学術研究都市」を掲げています。AI やビッグデータなどの先端技術を活用し、地域課題の解決に関する施策を展開するとともに、企業や大学との連携を通じて「やさしい未来都市」の実現に向けて取り組みます。

住友商事

広島大学内でのデジタルトランスフォーメーションに取り組むべく、新たに整備する国際交流拠点施設内に「ローカル5G」のオープンラボを設置します。大学や民間企業との5G利活用の共同研究を推進し、同学内における移動・行動データなどの利活用、ライトモビリティの実証実験なども行い、キャンパスから周辺地域への展開を図ります。また、大学発イノベーションを創出する仕組みを構築するとともに、将来的には、ベトナムハノイ市北部で手掛けるスマートシティ開発プロジェクトとの連携を目指します。

1 協定の内容

- (1) 広島大学東広島キャンパスのスマート化・グリーン化に関すること。
- (2) 東広島市及び周辺地域でのSociety5.0 やスマートシティの実現に関すること。
- (3) Society5.0 やスマートシティの実現に必要なイノベーションの創出 支援に関すること。
- (4) Society5.0 やスマートシティの実現に必要な学術研究に関すること。
- (5) Society 5.0 やスマートシティの実現に必要な教育に関すること。
- (6) Society5.0 やスマートシティの国際展開に関すること。
- (7) その他広島大学、東広島市及び住友商事が必要と認める事項。



○転換期にある東広島市

- 1 地方都市から内外に貢献できる世界都市へ(第五次東広島市総合計画) グローバル化が進展し、社会情勢の変化や、技術革新に伴い様々な社会経済システムが大きな転換期にある中で、今後は、集積した 知的資源を最大限に活用し、本市の成長を支える様々なイノベーションを創出するとともに、国際的に活躍できる人材の輩出等により、 国内外に貢献する世界都市へと成長していくことが必要です。
- 2 土地利用の方針 (第五次東広島市総合計画)

拠点地区	役割	地区
都市拠点	東広島市の中枢を担う広域的な都市の核として、行政・医療・福祉・商業・業務・文化・芸術等の高度な都市機能の集積を活かし、全ての市民に対して質の高いサービスを提供するとともに、本市の顔として都市の魅力・にぎわい・活力を創出します。	西条駅周 辺
特定機能拠点	広域交通、高度医療、産業・学術・技術等の専門的機能を支える特定地域として、 広島大学周辺では地区内外からの交流を促進する機能や学生や従業者等の日常 生活を支える機能を集積することで、それぞれが有する専門的機能の振興を図ります。	広島大学 周辺

西京縣県辺地区 中京駅周辺地区 西京縣県辺地区 佐藤大学西辺地区 東広島駅周辺地区

- 3 ベトナム ハノイ市北部で手掛けるスマートシティ開発プロジェクトとの連携
- 4 広島県との連携(広島県の令和3年度当初予算)

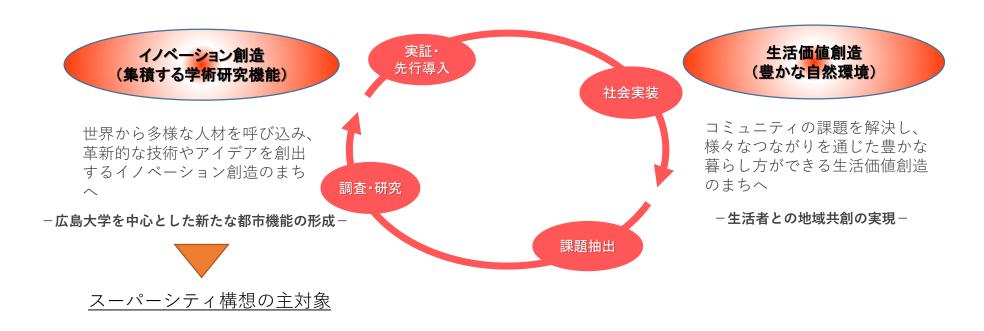
支比	出科目	款:土木費 項:	都市計画総務費 目:都市計画総務費			
担当	当課	都市計画課・住宅課 持続可能なまちづくり推進事業				
事業	業名					
事業	業内容	区分	内容			
		ゆとりと魅力ある 居住環境の創出 【新規】	○モデル地区での魅力ある居住環境の創出に向けたビジョンの策定支援 ・居住ニーズ調査 ・ワークショップ開催 ・目指すべき将来ビジョン ・コンセプト策定 などの市町の取組を支援			





Society5.0 for SDGsの考えに基づき 「市民のしあわせ」(Well-Being)を最大化

東広島市ならではの特徴を活かした多様・多才なコミュニティを形成し、DX等を通じて、そのコミュニティの間に多様なつながりをつくることで、東広島ならではの"まち・ひと・しごと"それぞれの持続的な発展・成長を可能にする楽しく、豊かな新しい暮らし方の実現と、それを支える共助の仕組みを構築します。



「やさしい未来都市東広島」の実現を牽引するグローカルなピース&サステナブルユニバーシティタウン構想

目指す姿

~世界がつながる次世代の学園都市~

大学のグローバル展開と連動しながら、世界から多様な人材が集まる。 多様な人材は、ノウハウや投資を呼び込み、イノベーションを起こす。 イノベーションは東広島市、広島県全体の産業振興、地域の発展につながる。 世界とつながり、世界が東広島市でつながるインターカルチュラルシティとなる。

具体的な 取組 1

Innovative

- イノベーションの創出のための環境づくり:産業振興、地域の発展を加速
 - □ カーボンニュートラル (大規模なPVの設置)
 - □ 先行的な実証・実装フィールド(5G環境、実証実験フィールド、民間企業からの資金調達)
 - □ アントレプレナー教育、アクセラレータープログラム
 - □ イノベーション創出のための産学連携拠点整備(東広島版SkySong)
 - □ 外国人が働きやすい制度設計(働き方の規制緩和:在留資格、労働時間)

取組を 支える エリア

On Campus - Off Campus - New District - Whole city

- 大学キャンパス
- キャンパス周辺
 - 新市街地
- 東広島市全域

□ TGO (推進組織)

取組2

- □ 社会実装
- □ 豊かな生活環境
- 全市民へWell-Being享受を展開

豊かな 自然環境

学術研究

機能

Inclusive ■ インクルーシフ 具体的な

- インクルーシブデザインのまちづくり:快適に暮らすための生活環境づくり
 - □ 高度な教育環境(グローバル人材の育成、インターナショナルスクール)
 - □ 行政サービス(CRM、行政手続き、子育て支援)
 - □ 環境と公共交通(自動運転・MaaS)

平和を享受 できる社会

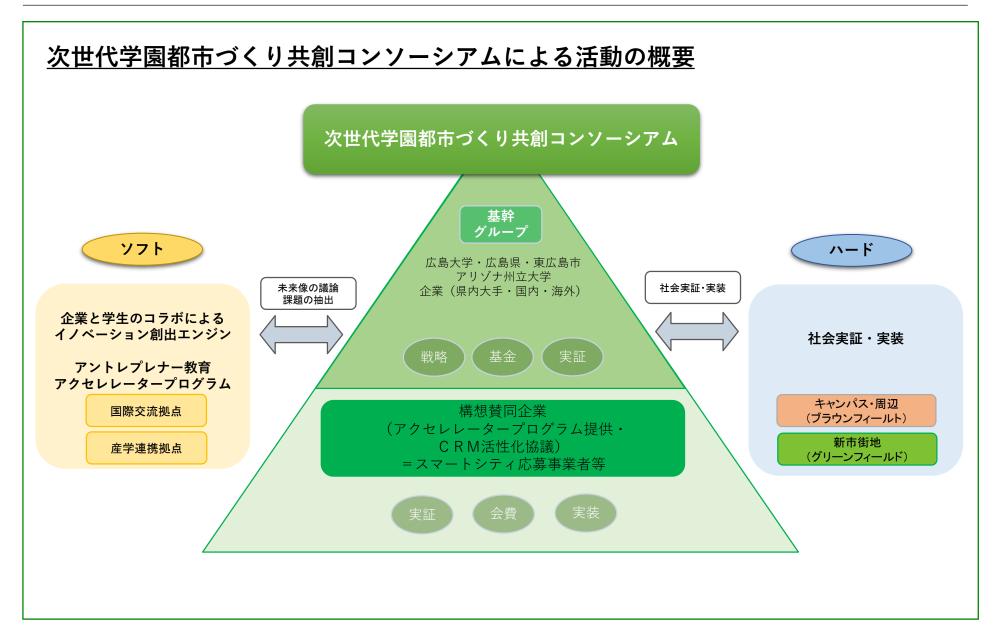






東広島モデルの 国内・海外への展開

やさしい未来都市づくり会議 会議構成 長期的なまちづくりの <事務局> <アーキテクト> 〇市長 〇外部有識者 方向性 - 金子理事・副学長 市経営戦略担当 ・市内大学 ・市内各種団体 -南雲理事 -総合政策担当 未来のまちづくりへの ・広島県 -SDGsプロジェクト担当 -中井DXプロデューサー 提言 情報共有 情報共有 課題・ニーズ・ 課題・ニーズの 規制緩和 規制緩和 シーズの抽出 抽出 次世代学園都市づくり共創コンソーシアム 人間工学・生活価値デザイン研究所 イノベーション創造 生活価値創造 <共創コンソーシアム(基幹グループ)> 連携 広島大学・広島県・東広島市・アリゾナ州立大学 東広島市 研究所 (地域振興担当) (企業等) <事務局>TGO 基幹企業群(県内・国内・海外) 課題・ 戦略 基金 実証 コミュニティ アクセラレータープログラム・CRM活性化協議 <事務局>東広島市 課題解決 社会実装 課題・ニーズの抽出 情報共有 構想の主要な推進体制 SDGS未来都市東広島推進パートナー



分野	主な課題	サービス
行政	 ・大学、企業を含む先端技術人材と外国人が多く転入するという特性をふまえ、行政プロセス・サービスにデジタル技術を取り入れ、転入プロセス、予防接種通知等の改善を行い、外国人、若者の住みやすさを訴求し、さらなる移住者、転入者の増加を図る必要がある。 ・市内に4つの大学を有し、転入転出の届け出件数は他市町に比べ多い。 ・外国人の割合は県内で一番高く、今後、アリゾナ州立大学(※)のサンダーバードグローバル経営大学院の広島大学グローバル校が開設され、留学生を中心にさらに増加が予想される。 ※アリゾナ州立大学はU.S. News and World Report誌において、『アメリカで最も革新的な学校』に5年連続で選ばれた。サンダーバード国際経営大学院は、1946年に創立した世界で最も歴史ある国際マネージメント及びグローバルビジネスを専門とした大学院。 ・このため、各種の手続に要する労力・時間の短縮を図る必要がある(書面での手続きの廃止)。 	CRM (Citizen Relationship Management) の整備・充実 行政手続代行 サービス
子育て	 ・本市の出生率は全国及び広島県の平均よりも高い。 ・外国人の割合も県内で一番高く、英語、中国語、ハングル語、スペイン語、ポルトガル語、 タイ語、インドネシア語、タガログ語、ベトナム語の母子健康手帳を交付している。 ・定期予防接種予診票を生後2か月から13歳未満まで13枚をセットで手交しており、申請書の紛失や接種漏れが発生する可能性がある。 	予防接種支援 サービス
移動・ 物流	・広島大学周辺をはじめ全市的に <u>公共交通網が脆弱</u> である。 ・今後の全市的な高齢化の進展による <u>買い物弱者への対応</u> が必要である。 ・ <u>カーボンニュートラルに向けて自動車中心の交通からの転換</u> が必要である。	小売りのAutono- MaaSサービス
教育	 ・世界とつながり地域が発展していくためには、グローバルに通用する人材の育成が必要である。 ・グローバルに通用する人材は、言語・文化など多様性を持つ人々との関係を構築するための非認知能力と呼ばれる新しい価値を創造する能力が求められる。 ・グローバルで活躍するためには、地域と結びつき自ら解決を解決する取り組みが重要である。 ・グローバル社会をたくましく生き抜く子どもたちを育てるため、新しい時代へ対応していく力の育成として、非認知能力の重要性が認識されている。しかし、非認知能力の把握や様々な教育活動との相関関係については、研究段階であり、非認知能力の育成に効果的な教育手法を確立していく必要がある。 ・地域活動の実施主体(地域・企業・市等)と、地域活動を行いたい学生とのマッチング機能の強化を図る必要がある。また、学生が地域活動を行うことへの意欲を高める必要がある。 	グローカル人材育成サービス

No	先端的サービスの名称	対象分野	サービスの内容	関連する規制・制度改革事項(新たな規制改革の提案、既存の国家戦 略特区の特例措置の活用)
1	行政手続代行サービス	行政	○本人確認として用いる免許証・保険証・学生証等の情報を機械で読取を行い、各種申請書に転記することにより、市民は申請書に記載する当為を省略し、手続きに要する時間を短縮する。 ○本人から基礎自治体が各種手続きの委任を受け、必要とされる手続きの代行を行う。	住民基本台帳法施行令(届出の方式) 第二十六条 法第四章又は第四章の三の規定による届出は、現に届出 の任に当たっている者の住所及び届出の年月日が記載され、並びに当該 届出の任に当たっている者が署名し、又は記名押印した書面でしなければ ならない。とあり、東広島市が当該届出を行う場合は、記名押印等の書面 を省略できるものとする措置。
2	予防接種支援サービス	子育て	○予防接種の手続きの電子化○接種履歴の保管と接種漏れ及び接種時期の通知○病院の基礎自治体に対する請求事務の電子化	予防接種法施行規則(予防接種済証の様式) 第四条第3項 母子保健法(昭和四十年法律第百四十一号)第十 六条第一項の規定により交付された母子保健手帳に係る乳児又は幼児 については、全二項に規定する予防接種済証の交付に代えて、母子健康 手帳に証明すべき事項を記載するものとあり、電子的な記録として保存し 参照できる場合は、記載を省略できる規制改革。
3	小売りのAutono-MaaS サービス	移動·物流	○スーパーマーケットなどと連携した小売りMaaSを 自動運転車で実現するAutono-MaaSサービス	・道路交通法、ジュネーブ条約 ・道路運送車両法 ・道路運送法
4	グローカル人材育成サー ビス	教育	○本市の小中学生を対象に、非認知能力(気質、コンピテンシー)の把握、A I による分析、本人への通知、アドバイスの提供を行う。	

新たな規制・制度改革の提案

No	①提案名	②具体的な事業の実 施内容	③「②」の事業を実施した場合に想定される経済的社会的効果	④「②」の事業の実施を 不可能又は困難とさせ ている規制等の内容	⑤「④」の規制等の根拠 法令等	⑥「④」及び「⑤」の規制・制度改革のために 提案する新たな措置の 内容	⑦参考 資料があ る場合は、 その有無
4	新市街地開発	次世代型学園都市の 構築 〜地域社会における課 題の解決を起点として、 新たな機能の検討を 行っている。これらの機 能は、「大学と一体と なったまち」の中で有機 的にデザイン・配置され マネジメントされることが 必要と考えている	・ビジネス創出 ・居住機能 ・教育機能 ・情報分析・データ活用 促進機能 ・コミュニティ形成機能	(都市計画法) 市街 化調整区域のままとする 場合 ・市街化区域編入の要件が整わない場合は市 街化調整区域のままで 開発していくことになる。 ・その場合、「県知事同 意が不要の小規模な行 為(法 29 条 1 項)」と 「知事許可を得られれば 開発可能行為(法 34 条)」が開発可能な用 途として参照すべき条項 となる。	広島県では法34条1、2、4、7、9,11,12,13号について「都市計画法(開発許可制度)に基づく処分の審査基準」として、取りまとめられており、これらの基準以外は原則として許可されない。		
				農業振興地域制度における農振農用地は、農業振興のため「農地を守る」立場で設けられており、農用地区域内の農地は、現在及び将来においても農用地として積極的に利用されるべきもので、原則として除外できない。	東広島市農用地利用 計画の変更に係る審査 基準第2条農用地区 域の変更 1変更(除外)に対 する基本方針		